

発達病態学演習

4 単位 (選択) 1 年 (通年), 2 年 (通年), 3 年 (通年)

Practical developmental pathophysiology

香美 祥二 (授業責任者)・教授 / 医学専攻 発生発達医学講座, 森 健治・准教授 / 医学専攻 発生発達医学講座

早瀬 康信・講師 / 医学専攻 発生発達医学講座, 渡邊 浩良・講師 / 医学専攻 発生発達医学講座, 近藤 秀治・助教 / 大学院ヘルスバイオサイエンス研究部

【授業目的】小児疾患の病因病態, 診断法, 治療法および予防法に関する研究の最新の動向と具体的な研究の進め方を習得する。

【授業概要】小児疾患, 主として腎疾患, 神経疾患, 心疾患, 血液疾患, 膠原病等の病因病態解析と新しい診断・治療・予防法の開発および分子生物学的研究方法, 細胞生物学的研究方法を駆使する小児疾患の研究開発に関する最新の学術論文を学生が抄読し, 仮説や研究計画の立案の仕方およびその実証法について実施する。

【履修上の注意】特になし

【授業計画】

	大項目	担当
1~4.	授業ガイダンス+小児腎臓病学の演習	香美 祥二
5~8.	小児神経病学の演習	森 健治
9~11.	小児循環器病学の演習	早瀬 康信
12~14.	小児血液病学の演習	渡邊 浩良
15~16.	小児膠原病学の演習	近藤 秀治

【成績評価】特になし

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217603>

【連絡先】

⇒ 香美 (kagami@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 毎週木曜日 19:00~ 20:00)

【備考】臨床医学研究者, 研究マインドをもった臨床医および臨床的知識をもった基礎医学研究者の育成を目指す。